

## JKF 競技規則及び運用の変更

### 1. 形演武の順番の変更について 2109.8.17

2ラウンドからメダルマッチまでの形演武の順番は、電子形システムによりランダムに決定する。また、メダルマッチでは、前ラウンドの点数の低い方の選手が赤となる。

### 2. 形審判団の編成について 2019.8.28

形競技のメダルマッチのラウンドにおける7名の審判員は、2名の競技者と同じ所属連盟、又は縁戚関係の一員であってはならない。予選のラウンドにおいて、グループ全体の演武が終了するまでは、その審判団が変更されることはない。

### 3. 実施事項 01/2019 競技を中断することなく競技の活発化を図る。「掴み」や「組み合い」を分ける

#### 1) 競技を中断せずに競技の活発化を図る。

競技者が技を出さない場合、主審は、非公式にジェスチャーで競技を続けるよう促すための合図を行う。(競技者をコートに入れるときの合図と同じ) その際、ジェスチャーとともに「つづけて」と発声する。

#### 2) 試合の活性化をはかるため「掴み」や「組み合い」を分ける。(手のひらを競技者側に向けて分けるジェスチャーを使用) その際、ジェスチャーとともに「わかれて」と発声する。

※ 2つの合図は競技を中断することなく使用する。手の動作はいずれも肩ほどの高さで行う。

### 4. 実施事項 02/2019 -確認することができないビデオレビューの手順

コーチがビデオレビュー要求のためカードを表示したが、その有効を確認できなかった場合、ビデオレビュースーパーバイザー(VRS)は YES または NO のカードを表示せずに立ち上がり、以前に使用されていた「見えない」動作を行う。カードはコーチに戻される。

また、最初にどちらかのコーチがVRカードを提示し、もう一方のコーチが同じようにVRを要求したい場合、その権利を失なわないためには、ビデオレビューが開始される前にそのカードを提示しなければならない。

裏へ続く

#### 5. 実施事項 03/2019 -宗教的に義務付けられているヘッドウェア

組手、形競技規則におけるコーチの部分pt1を参照

コーチの服装

女性コーチはWKFが宗教的に義務付けられたヘッドウェアを着用されることが認められている。

次の改訂では性別の公平性を確保するため「女性」という言葉を削除する必要がある。

競技規則 1.1.2021 における改訂で即時に許可されることが承認されている。

#### 6. 実施事項 04/2019 形競技の不規則的演武の順番 予選ラウンド

2019年9月6～8日に開催される東京プレミアリーグより実施

WKFは電子形判定システムにおいてランダムに演武の順番を決めることを決定した。ただし、メダルマッチは除く。

上記改訂は令和元年10月1日より実施とする。

令和元年10月1日

(公財)全日本空手道連盟  
審判委員会  
委員長 高橋和夫